

## 済生会松阪総合病院を受診された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	顎口腔領域への転移性腫瘍の多施設共同後ろ向き観察研究
当院の研究責任者	大倉正也
他の研究機関および各施設の研究責任者	研究代表者 富山大学 山田慎一 准教授 研究責任者 長崎大学/梅田正博、神戸大学/長谷川巧実、信州大学/近藤英司、広島大学/小泉浩一、奈良県立医科大学/桐田忠昭、東海大学/太田嘉英、福井大学/吉村仁志、新潟大学/富原 圭、関東労災病院/堀江彰久、静岡市立静岡病院/大山巖雄、日本歯科大学/猪俣 徹、名古屋市立大学/石橋謙一郎、北海道がんセンター/秦 浩信、林信、徳島大学/山村佳子、北海道大学/大廣洋一、愛媛大学/合田啓之、慶応義塾大学/蒔生田整治、鹿児島市立病院/新田哲也、長野市民病院/西村允宏、長野赤十字病院/傳田祐也、伊那中央病院/梶原 稔、兵庫医科大学/野口一馬、大阪公立大学/中原寛和、山口大学/三島克章、和歌山県立医科大学/松村達志
本研究の目的	近年における顎口腔領域への転移性腫瘍の疫学的調査を行い、予後等を明らかにします
調査データ 該当期間	2008年1月1日～2022年3月31日までの期間に本研究参加施設を受診した顎口腔領域への転移性腫瘍患者の性別、初診時年齢、原発部位、病理組織学的診断（原発巣）、顎口腔領域の転移部位、顎口腔領域以外の転移部位、臨床症状、Numb chin syndromeの有無、治療法（原発巣・転移巣、分子標的治療薬・免疫チェックポイント阻害薬の使用）、顎口腔領域への転移確認までの期間、転帰（原発巣、転移巣の制御）初診日、最終確認日を検討します

<p>研究の方法 (使用する資料等)</p>	<p>主要評価項目：全生存率（期間） 副次的評価項目：転移性腫瘍の発症傾向 統計解析方法：生存率は Kaplan-Myer 曲線を用いて算出し、Log-rank 検定を用いて有意差検定を行います</p>
<p>試料・情報の 他の医療機関への提供</p>	<p>富山大学に CRF の提供</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>研究に携わる者は、個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、調査により得られた情報を取扱う際は、研究対象者の秘密保護に十分配慮します。個人を直ちに判別できる情報（氏名、住所、診療録番号等）は利用せず、研究対象者に符号もしくは番号を付与し、対応表を作成します。対応表は研究責任者が鍵の掛るキャビネットに保管し、自施設外に個人を直ちに判別できる情報の持ち出しは行いません。本研究結果が公表される場合にも、研究対象者個人を直ちに判別できる情報を含むことはせず、また本研究の目的以外に、本研究で得られた情報を利用しません。共同利用する個人情報等の項目（氏名、年齢、性別、病歴等の情報）は、各施設の研究対象者に符号もしくは番号を付与し、対応表を作成し対応表は各施設の研究責任者が鍵の掛るキャビネットに保管し、各施設外に個人を直ちに判別できる情報の持ち出しは行いません。</p>
<p>本研究に係る資金 (利益相反)</p>	<p>なし 本研究の研究者は、「国立病院機構相模原病院における利益相反 (Conflict of Interest : COI) の管理に関する規程」に従って、利益相反委員会 (COI 委員会) に必要事項を申告し、その審査と承認を得るものとします。</p>
<p>お問合せ先</p>	<p>済生会松阪総合病院 歯科口腔外科 大倉正也 0598-51-2626</p>